年末の大掃除に
クリスマスパーティの準備―

特集

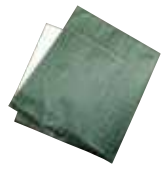
あなたの雑がみが誰かの思い出になる日

あなたにとって、大切なものは何ですか？
もし、それが紙でできているのなら、
誰かのリサイクルで生まれ変わったものかも。
新聞紙や段ボールだけでなく、
「雑がみ」も大切な紙資源。
師走の大掃除を前に、
少しだけ「雑がみ」のことを考えてみませんか。
問資源循環推進課☎2998-9146

あれも、これも、雑がみ。

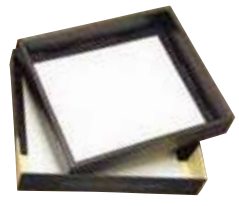
トイレットペーパー
などの芯も…

お菓子の箱も…


包装紙も…

ラップの箱も…

パンフレットやチラシも…


化粧箱も…

ティッシュペーパーの箱も…

ぜーんぶ
雑がみ！
きちんと分別すれば、生まれ変わるんです。

雑がみ≠燃やせるごみ

雑がみとは、新聞・雑誌・段ボール・紙パック以外の紙製品のこと。きちんと分別し、リサイクルすれば、ティッシュやお菓子のパッケージ、絵本などに生まれ変わります。

でも、リサイクルできるはずの多くの雑がみが、燃やされてしまっているのが現状。所沢市の燃やせるごみの中には、雑がみが約13%も含まれているんです。

雑がみを分別することは、ごみの焼却量を減らすことにつながります。燃やせるごみの中の雑がみを10%減らすことができれば、ごみ処理の経費は年間約6,000万円も減らせる計算に！